

## 山梨県立富士北稜高等学校 平成29年度教職員の多忙化改善計画

	項目	現状と課題	H30年度に目指すべき状態	①H29年度に実施する内容 ②H30年度に向けて検討する内容
1	会議等の効率化	会議が多く、所要時間が不明確。	会議では、協議事項のみ取り扱う。	① 資料の事前配付。 ② 会議回数の縮減。要点のみ説明。
2	学校行事の負担軽減	行事が多く、縮減が課題である。	行事の見直しにより、統廃合を行う。	① 行事の見直し、精選。 ② 行事の統廃合。
3	校内組織の見直し	分掌・委員会等、多くの組織が存在している。	校内組織の縮減	① 校内組織の統廃合の検討。 ② 校内組織の統廃合と構成員の変更。
4	業務の効率化	業務連絡や起案文書処理に時間がかかる。	起案文書の回議方法の変更	① 教職員全メール、個別のメーリングリスト作成による業務連絡。 ② 起案文書の回議方法変更の検討。
5	部活動の負担軽減	休養日が少ない部活動がある。	月に6回以上の休養日を設定する。	① 週1回以上の休養日の設定。 ② 月に6回以上の休養日を設定する。
6	地域人材の活用	学園祭運営が大変である。	P T A ・地域住民の学園祭への参画。	① 模擬店の省力化。 ② 模擬店にP T A ・地域の方々の協力を得る。
7	(学校独自の項目)	朝礼時に連絡事項が多い。	日報を電子データでメール送信。	① 日報を配り、必要な連絡のみ発言。 ② 日報を電子データでメール送信。
8	(学校独自の項目)	検定が多い。	検定の削減を検討する。	① 検定の見直しをする。 ② 検定の削減を検討する。